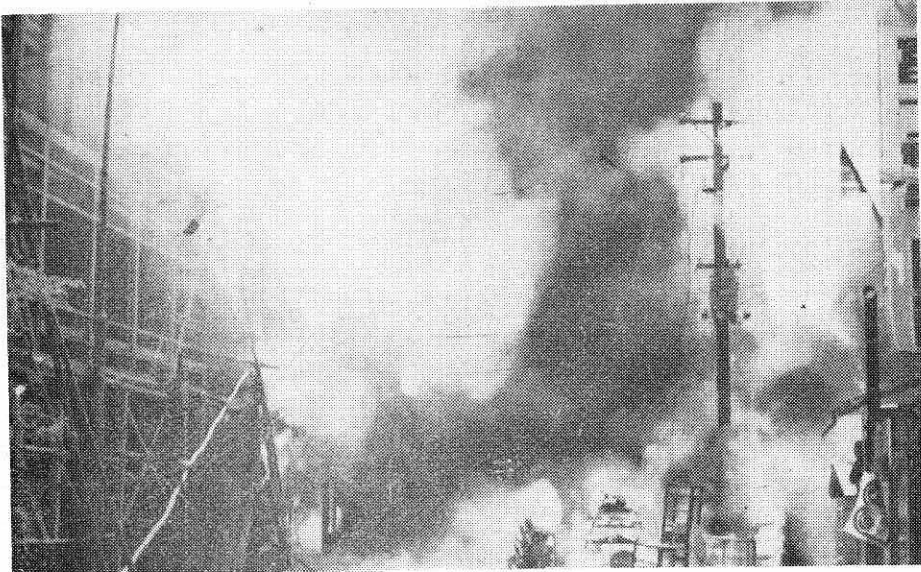


くり返すまいこの災禍

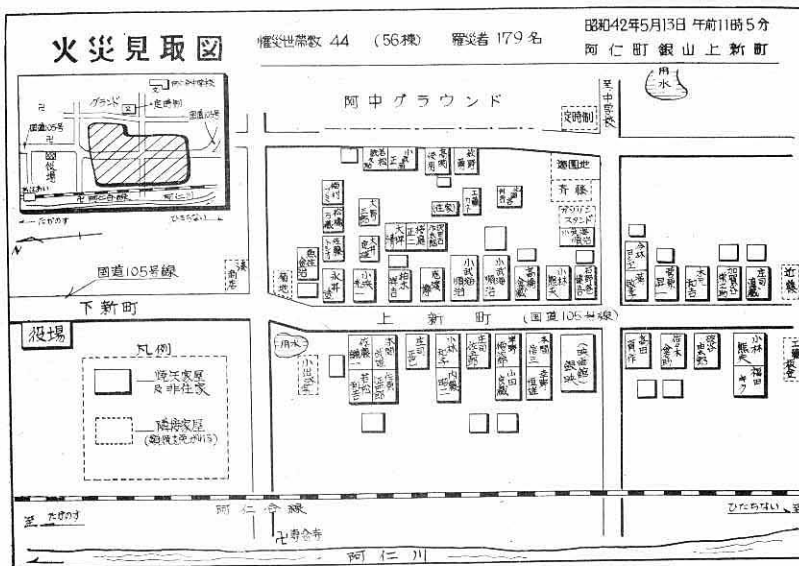
一瞬にして44世帯179名が不幸に



猛火につつまれる上新町中心街

あにまち

発行所 阿仁町役場
 編集 秋田県阿仁町
 印刷 阿仁合印刷所



五月十三日午前十一時五分頃、上新町国道東裏に面した住宅地で火災が発生。好天続きと折からの異常乾燥のもとにみえる火の手は広がり、更に火災発生と共に吹き出した風にあおられた火の手は火勢を増して商店街におよび、国道一〇五号線をはさんで四方に延焼。猛火の中で必死の消火作業もむなしく住家三八棟、非住家十八棟を焼失するという大火となり午後一時過ぎ鎮火しました。これにより四四世帯一七九名が焼け出され、一瞬のうちに悲しい不幸に見舞われました。ちよつとの油断が大事をまねくという悲惨な実例と、火災のおそろしさを身をもって体験させられました。この体験を教訓とし二度とくり返さぬように防災につとめると共に、罹災者各位の一日も早く復興されるようお祈りいたします。

罹災世帯

- 工藤 カネ 高岡 俊男
- 荻野 勇 桜庭 昭二
- 沢田石作太郎 大坪 清
- 北国谷理吉 小武海順治
- 高橋 金蔵 柏木 祥孝
- 小浜 光一 山田 良蔵
- 庄司佐五郎 内藤 昭二
- 佐藤 謙一 佐原征四郎
- 永井 徹 庄司 正己
- 高田 賢作 佐々木金之助
- 小林 熊夫 庄司 直蔵
- 木本 和吉 菅原 昇一
- 蒲 敏高 福田 キク
- 梅村 フミ 魚住 三治
- 松橋 万蔵 大野 金郎
- 大井 定雄 本間 武雄
- 窪谷由太郎 幸野 恒雄
- 若松 利吉 小武海 正
- 若松 健吉 石野卷健吾
- 岸野徳次郎 今林 芳江
- 加賀谷栄之助 小林 和子
- 佐藤トシオ 本間 信三

復興に立ち上る罹災者



あれから一ヶ月復興のきざしが見られる焼跡

苦境をのりこえて

すでに本建築も始まる

悪夢のような日からはや一ヶ月をむかえようとしています。その間、県をはじめ町、更には全国の温い支援に見守られ、懐跡ではバラックにまじって本建築のつち音も高く、罹災者はいま全力をあげて復興に立ち上ろうとしています。

火災直後、県及町にそれぞれ、災害対策本部が設置され、たゞちに罹災者に対する救援措置と今後の防災及都市計画等についての対策が構じられました。

救援策を決定

緊急町議会

十三日の火災当日午後三時より、役場において緊急臨時町議会を開催、罹災者に対する応急措置として見舞金、建築資材のあつせん等次の対策を決定しました

△見舞金

一世帯当

一万円

世帯員一人当

二千元

非住家一棟当

三千元

△建築資材のあつせん

罹災者の住宅建築に要する資材について、営林署等の協力によりそのあつせん

につとめる。

△資金の融資あつせん
復興に要する資金の融資あつせんをする。

△教育費の援助

児童生徒の見舞金として修学旅行費五万円を措置する

△たき出しの実施
罹災者に対してたき出しを実施する。

以上の応急措置にもとずき、見舞金は翌十四日救援物資と同時に手渡されました。尚、町としても火災復興には万全の措置を構するようになっています。

「災害救助法」が適用

救済復興対策に全力

阿仁町の火災に対し、県ではたゞちに「災害救助法」を適用、罹災者に対する総合的な救援措置が構じられることになりました。

火災当日、はやくも夜を徹して救援物資が運ばれ、来町した小畑知事、県消防課長と町長をはじめとする役場関係者との間で具体的な対策が協議され更に翌日県関係各部課長と町会議員との協議で当面の救済措置と今後の防災計画として次の通り策定されました。計画の実施に当っては県と町とが一体となつて推進することになっています。

○ 応急対策

1、罹災者に対する生活援助

について

- (1) 被服寝具および生活必需品の給与
- (2) 避難所の設置、たき出しの給与
- (3) 罹災者に対する生活保護として、防疫対策、健康管理、負傷者の処置、生活保護相談所の開設等を実施
- (4) 世帯更生資金の貸付
- (5) 県税及町民税の減免
- (6) 役場窓口における諸証明の優先無料取扱い。

2、住宅復旧

- ① 住宅金融公庫による貸付けを行なう。
- ② 建築相談所の開設
- ③ 店舗建築資金の貸付
- ④ 建築資材の援助

3、商工業者に対する措置

- ① 各種資金の活用

罹災者移転先 6月1日現在

罹災者氏名	移転先	罹災者氏名	移転先
木本和吉	駅前 営林署住宅	高関俊男	上新町 高関与助方
菅原昇一	駅前 秋北バス停留所	工藤カネ	上新町 定時制
浦田敏高	御蔵 古河社宅	萩野石作	上新町 定時制
福田キフ	下新町 母子寮	庭正二郎	上新町 定時制
梅村フミ	水無 植教アパート	大坪清二	下新町 近正アパート
魚住金治	下新町 魚住電機店	北国谷理吉	下新町 近正アパート
松橋万三	向岱 古河社宅	高武海順	上新町 岸野建設
大井野定雄	新町 布川合宿	高植木祥孝	御蔵 古河林業社宅
本間武雄	廣町 定時制	小浜光一	上新町 柏木サイ方
碓谷由太郎	下新町 銀山部落会館	山田良蔵	上新町 小出貢方
幸野恒雄	畑町 齋藤三助方	庄内司五郎	下新町 病院住宅
若松鉄之助	畑町 古河社宅	内藤昭三	上新町 庄司榮四郎方
小武海正	水無 植教アパート	畑藤謙一	畑町 古河社宅
若松利吉	畑町 古河社宅	佐原征四郎	上新町 菊地採勝方
石野健吾	中学校横 古河会館	永井司徹己	下新町 八田要蔵方
岸野徳次郎	五味堀 岸野徳治方	庄高田正賢	下新町 善勝寺
加賀谷栄之助	上新町 自宅裏倉庫	高田賢作	下新町 高田鉄雄方
小林芳江	御蔵 古河社宅	佐々木金之助	上新町 秋田銀行住宅
小林和子	御蔵 小林勲方	小庄林能夫	上新町 阿部マサ方
佐藤トシオ	上新町 定時制	庄司直蔵	上新町 近藤源蔵方
本間信三	畑町 加藤商店裏		

● 恒久対策

1、都市計画

阿仁町全体の都市計画との関連において、罹災地の都市計画を推進する。

- ① 道路拡幅
- ② 道路の整備
- ③ う回道路の設置
- ④ 防火用水池の設置

2、簡易水道

火災時の用水確保と生活環境改善をはかるため、簡易水道設置計画をたて、近い将来具体化する。

以上の実施計画により、すでに一部住宅関係を除く大半は実施済みであり、対策本部では更にこれが推

進に努力し、罹災者の一日も早く復興されるよう望んでおります。

火災の通報は

電話の場合、局の交換手が出たらすぐ「〇〇部落が火事です」と伝えて下さい。局ではたゞちに役場へ連絡してくれます。火事は一刻を争います。(今回の火災の際に、役場を申し込みましたが話し中を通じなかつたため通報が遅れています)

ぞくぞくと支援の手

罹災者も心から感謝

「罹災者に役立てて下さい」と、各方面からぞくぞくと支援の手がよせられています。

火災のあつた十三日から被災者によせる愛の手は、日を追つて多くなり、連日のごとく「見舞金」「見舞品」が届けられ発生以来一月にならうとしています。

なおつづけられています。小遣いをさいたと思われ東京の就職生や、街頭募金をしたという高校生、友達や仲間のみんなで出合つて送つてくれたと思われる見舞金、更には食糧品衣類など、いずれも慈愛に満ち激励のこもつたおくりものです。

役場では、早速この善意を被災者に伝えるため支給につとめています。見舞品をうけた被災者は心から感激しておられました。

又、一日に開かれた部落会長連絡協議会でも、各部落会長総意により町内全戸からの義損金が決定していま

尚、秋田魁新聞社にも独自の義損金がよせられていますが、五月末日現在での阿仁町役場宛によせられた見舞金、見舞品は次の通りとなつています。

愛の手をさしのべられた数多くの県内、県外の各位に対し厚くお礼申し上げます。

見舞金

(敬称略、受付順)

- 県議会議長 佐藤育秀 五万円
- 上小阿仁村長 小林大二郎 一万円
- 阿仁町病院南科医師 勝又健太郎 三万円
- 宮越福祉財団 宮越啓治 四万四千元
- 秋田銀行 十万円
- 中村自治会 千二百五〇円
- 合川婦人会 二千元
- 米内沢婦人会 二千元
- 大館市長 石川芳男 二万円
- 森吉町長 近藤宣次郎 二万円
- 青森県大鰐温泉千秋荘 松浦泰治 五千元
- 天王町田仲自動車工業 田仲誠 一万円
- 山瀬木材社長(鷹巣町) 渡辺昌 三万円
- 能代市長 柳谷清三郎 二万円
- 東北電機工事大館営業所 三千元
- 鷹巣町伊徳商店 従業員一同 六千元
- 鷹巣ロータリークラブ 一同 一万円
- 秋田県共同募金会 一万円

- 森吉町社会福祉協議会 二万円
- 自衛隊大館出張所 二千元
- 鷹巣町議会議長 仲村正 五千元
- 北秋田郡連合婦人会 十二万八千九百九十五円
- 田代町長 吉田季吉 二万円
- 合川町長 山田義郎 一万円
- 鷹巣町長 出川礼一 三万円
- 矢島町消防団 五千元
- 森吉町桜庭木材社長 桜庭隆一 二万円
- 秋田市中通中屋商店 中屋和吉 五千元
- 秋田県町村会 六四町村 二〇万円
- 花矢町長 山本常松 二万円
- 比内町長 薮長 一万円
- 向山鉱山主(東京) 高木彬光 五万円
- 南秋田郡五城ノ目町 連合婦人会 八千五百円
- 秋田県立鷹巣高校 六千七百八十円
- 湯口内部落一同 五千元
- 大阿仁連合婦人会 一万円
- 鷹巣町坊沢字大柳傍 高坂正美 一千元
- 秋田市秋田相互銀行 三万円
- 能代市丸大商店 一千元
- 荒瀬スポーツ少年団 三千元
- 能代市近竹製材所 近藤貞蔵 四万四千元
- 鷹巣町いまの商店従業員 一同 千三百四十五円
- 根子部落自治会 二万円

見舞品

(敬称略、受付順)

見舞品は罹災者と、役場及消防によせられましたが罹災者関係は次の通りです

- 秋田県知事 小畑勇次郎 毛布 四四枚
- 南秋田郡小玉合名KK 醬油一、八八入五〇本
- 味噌二K入 五〇袋
- 森永牛乳大館営業所 牛乳 四五〇本
- 秋田魁新報社 タオル 一五〇本
- 朝日新聞社 手拭 二九本
- 秋田銀行阿仁合支店長 宮越庄二 衣類十一點
- 和田寛醬油KK大館営業所 醬油一、八八入五〇本
- 味噌 五〇袋
- 鷹巣町伊徳商店 醬油一、八八入五〇本
- 花輪町浅利商店 タオル 五〇本
- 醬油一、八八入九〇本
- 大館鳳鳴高校職員生徒 一同 二万五千六百円
- 由利郡矢島中学校生徒会 一同 四千八百円
- 北秋田郡町村会 一万円
- 秋田市寺内秋田県護国神社 五千元
- 阿仁町「若さぎ会」 一千元
- 東京都三菱製鋼KK中正 寮 佐々木昭悦 一千元
- 秋田市亀ノ丁大内科 村山 二千元
- 仙北郡西木村役場職員 小計 百拾万七千一四五円
- 青森県大鰐温泉松浦泰治 タオル 五〇本
- 天王町田中自動車工業KK 田中誠 手拭五〇本
- 秋田市NHK放送局 タオル 五〇本
- 秋田市日本専売公社 タバコ 四四ヶ
- 食塩 四四袋
- 鷹巣町「ひさご」漬 二〇点
- 阿仁町病院 勝又健太郎 衣類 一六點
- 東京都明星食品株式会社 明星ラーメン 三〇ヶ入 五〇箱
- 森吉町米内沢 近藤靴店 ズツ 一〇足
- スリッパ 一〇足
- サンダル 一九足
- 横手市清川町 保坂清子 衣類 九點
- 重箱その他 一〇点
- 東京都練馬区笠原ミサオ 衣類 七〇点
- 秋田市泉 向エツ 三四
- 白トレパン 三四
- 白シャツ 三四
- 衣類子供物 一二点
- 平鹿郡増田町 長坂商店 味噌 五〇袋
- 田辺製菓KK鷹巣町衛生堂 予防薬品 六〇ヶ
- 下新町 湊修一商店 粉石鹼 四四箱
- 中村部落 白米 四斗四升
- 浄土宗総本山知恩院 タオル 四四本
- 仁賀保町役場 衣類 四箱
- 大洋漁業KK青森支社 ソーセージ 四八〇本
- 東京都杉並区神明町 福地なみ 衣類一箱
- 富山県業連合会秋田県部会 薬品 一箱
- 日赤秋田県支部 衣類 一箱
- 秋田市 田村 衣類 一箱
- 鷹巣伊徳商店及楽屋被服工場 白トレパン 三四
- 白シャツ 三四

見舞金の配分については町社会福祉協議会で検討し更に町議会で協議の上八日に配分されました。

又、見舞品については食料品関係はすでに支給済みで、衣類関係も一括して九日に支給しております。尚、六月以降につきましては後日お知らせ致します

「ご支援を感謝全力で復興を



阿仁町長

佐藤 時 治

五月十三日、町内上新町に発生した火災は、わずか二時間という短時間のうちに上新町の大半を焼きつくすという、近年にない大火災となつてしまいました。

あまりの突然の惨事に罹災者はもちろん、全町民は驚きと悲しみに心を痛め、特に被災者のご心痛を思うとき、心から同情を禁じ得ません。

悪い条件の中で、一時はどうなるかと案じられた火災でしたが、森吉町をはじめとする隣接市町村消防団の支援と、町内各職場特設消防隊の活躍により延焼をまぬがれたことは何よりのさいわいで、もしこれら消防団による献身的な支援活動がなかったならば、想像を絶する災禍となつたことであり慄然とさせられます。町内消防団の活動とあわせ、こゝに深甚の感謝を捧げ厚くお礼申し上げます。

方に暮れていることを思い、衷心からご同情申し上げます。一日も早く再起されることを祈り申し上げます。町としても、災害復興に万全の努力を惜しまず精励する覚悟であります。

火災当日、鎮火後たゞちに緊急町議会を開催し、罹災者に対する応急対策を決定、更に県へ災害状況を報告「災害救助法」の適用をうけるなど救援措置の万全を期しております。

又、当日は小畑県知事、佐藤県会議長をはじめ、県の消防課長、北秋田福祉事務所長等が見舞や視察に来町され、町関係者を交えて当面の救援策を検討。

更に日赤秋田支部と県からの救援物資が、夜に入つて相次いで届けられました。同時に多数の方々をはじめ県内県外より丁寧なお見舞と激励を賜わり、気落ちする関係者への力強い支えとなつてくれるなど、苦況の中で受ける善意に心から感謝致しております。

翌十四日、当町で一夜を明かした小畑知事は、県庁より土木部長、計画課長、

建設課長をはじめ災害関係担当係を阿仁町に招致し、阿仁町議会議員、営林署長等を交えて「災害対策審議会」を開催し、罹災者の救援法、再建対策、並びに火災地域の都市計画について基本的な方針を審議決定しました。

町はこの基本計画に従つてとどろき罹災者の応急住居を定め、再起再建に必要な資金の借り入れ手続、或いは建築用木材を営林署より買いうけについて手配し又、道路の改修、街の区画整備について県の協力を得ながらその実行にとりかゝつていきます。

大火発生後いち早くNHKをはじめ各新聞社の報道網が布かれ、火災現況を詳細県内外全国に速報されたので、遠く他地方に活躍している郷土出身の方々からも、多数の見舞状が寄せられ、中には見舞金を送つて下された方もあります。遠隔の地に於いて常に郷土を懐く人々に心配をかけ申しわけなく思つております。大火災にもかかわらず、直接的に一人の死傷者もなかつたことは不幸中の幸いでありました。たゞ、災害状況を空中撮影に来た毎日新聞の大宮カメラマンが、取材の帰途不幸にして秋田空港で殉職されたことは誠に気の毒に耐えず、町ではた

お知らせ

住宅改良資金の貸付

住宅の増築、改築、修繕等の工事に要する資金について、昭和42年度住宅改良資金貸付けの申込みを受付けております。

○受付期間
5月20日～6月30日迄

○受付場所
秋田銀行阿仁合支店

○貸付金の限度
改良工事費の70%以内
で10万円～35万円まで

○貸付金の利率
年六分

詳しくは役場土木課へ

六月は
町民税一期と
国民健康保険税
二期の納期です

健康保持のためみんな
で受診を

結核予防のレントゲン撮影が、19日から23日にかけて全町各地域で行なわれます。健康保持のためこの機会にぜひ受診されるよう。

南米東北村移住
希望者あつせん

農業の夢を拡大な南米の地に托して、海外移住希望者の方々が行なわれております。

「やめよう」 犬の放し飼い

犬の放し飼いは禁じられています。また放し飼いが見られますがお互いの迷惑でもあり放し飼いはやめましょう。

キケン

線路の通行はやめましょう

告 警

水不足による被害が出ています。予報では下旬にならないと雨は降らないといふことです。稲作はもちろん、防火のために水の確保につとめるよう各自ご注意下さい。